

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

9月1日

昨年度、学校休業期間には「できるかな」を発信しました。保護者の皆様には、学びを止めない、学習意欲の向上等にご協力いただきありがとうございました。自分の住んでいる地域の名前、23区の名前や順序、富士山の頂上は何県、「、」や「。」のところまで一息で音読、もっと基礎に立ち戻り、50音表のひらがなや数字を書くということにも挑戦してみました。

今回は、「できるかな2021」この臨時休業期間をチャンスに、再び「できるかな？」にチャレンジです。

習った漢字を、心の中（頭の中）でイメージして（思い浮かべて）使ってみよう。

面白い漢字もあります。小学校では習わないけど身近な動物です「鳩」という漢字です。よく見てみましょう。「九」（きゅう）という漢字です。数字の「9」ですが、よきまたを変えると「く」です。ハトの鳴き声を思い浮かべてください。「ク・ク・ク」です。「鳥」と鳴き声の合体です。それでは、「蚊」は・・・・・・・・「虫」と「文」の合体です。「文」は「ブン」「ブ・・・・・・・・ン」と伸ばすとイメージできますか、そうです。夏にやってきてチクリと刺す「か」です。刺されると痛いですね。

他にも調べてみると面白いかもしれません。

それでは、

各学年

国語の教科書「〇年生で学んだ漢字①」の漢字を使って、文を10個以上書いてみよう。

一年生は、「せんせいあのね」を書いてみましょう。

チャレンジしてみましょう

9月2日

昨日の漢字を使った文作りはできましたか。

今日、今まで習った4つの計算や計算の決まりを使って考えてみましょう。

「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」「9」「0」の中から4つの数字を選んで、足し算、引き算、かけ算、割り算を使って、「10」をつくってみましょう。例えば、1と2と3と4は「 $1+2+3+4$ 」で10になります。トランプ（カード）を上手に使うとゲーム感覚（かんかく）でできると思います。2と4と6と8の4つの数ではどうすると「10」をつくることができるでしょうか。どのように計算したのか誰（だれ）かに説明（せつめい）してみましょう

式にして書いてみると人に説明するときに便利です。

身のまわりの物で、見えた物を入れ、知っている漢字を使って文作りもして見ましょう。

昨日のチャレンジの発展（はってん）です。

チャレンジしてみましょう！